

【講座名】

2019年度 日本大学大学院理工学研究科 STAMP 講座 – 電子工学専攻 – 民間企業トップマネジメントが実践してきた技術経営 –

【授業計画】 2019年9月～2020年1月（15 回）

第1回 「オリエンテーション」

講師 中川活二 教授、山本寛 特任教授

上田新次郎 (元) (株)日立プラントテクノロジー 代表取締役副社長

要旨 将来の社会を担う技術系学生に求められる人間像と技術経営について語る。

(前半) 技術系学生の世界観を広げる

第2回 「社会情報システムの変遷と今後の展望」

講師 岡野 勝 (元) 名菱電子(株) 代表取締役社長

要旨 電力、ガス、上下水道、道路、ダム、ビル、鉄道等幅広い分野の社会インフラを支える情報通信システム構築経験を元に、システムの変遷と今後の展望について語る。

第3回 「エネルギーシステムの変遷と再生可能エネルギー普及への課題」

講師 黒坂俊雄 (元) 神鋼リサーチ(株) 代表取締役社長

要旨 日本の産業発展とエネルギー関連技術開発や製造業の省エネの姿を概観し、今後の再生可能エネルギーの普及に向けて、技術と社会の課題やビジネス機会を考える。

第4回 「グローバル時代の技術開発戦略」

講師 正村達郎 (元) 日本無線(株) 取締役 研究開発統括

要旨 グローバル競争の中で優れた技術を持つことは重要だが、それだけでは勝てない。リーダーシップを持った仲間づくり、標準化、技術連携戦略をどう進めるか語る。

第5回 「情報通信ビジネスの動向と企業人の在り方」

講師 海野 忍 NTT コムウェア(株) 相談役

要旨 電気通信サービスについて、その歴史と産業の成り立ち、発展状況について紹介し、クラウドサービス、人工知能、IoT など最近の動向、今後の発展の方向について語る。

第6回 「情報通信政策の今昔と今後の展望」

講師 寺崎 明 (元) 総務審議官 (総務省)

要旨 かつて国内の通信サービスは国営・公社により独占体制で営まれてきたが、1985 年に民営化された。昨今競争が不十分であり携帯料金が高すぎるという指摘があるが、その背景と今後について考えてみよう。

第7回 「通信と放送が融合したモバイル向け放送事業の立ち上げとその後」

講師 二木治成 (元) (株)NTT ドコモ 取締役 常務執行役員

要旨 通信事業者と放送事業者が手を組んだ世界でも珍しいスマホ向けマルチメディア放送「NOTTV」という放送事業の立ち上げとその後を語る。

第8回 グループディスカッション

講師 複数講師とコーディネーター

要旨 前半の講義について、特定のテーマを取り上げ、受講生と講師との間で質疑応答しながら、グループごとに総合的に討論する。

(後半) 技術経営の実践

第9回 「実践的開発プロジェクトマネジメント」

講師 井上 保 (元) (株)富士通テレコムネットワークス 代表取締役社長

要旨 多くの人・ステークホルダーが関わるシステム（ハード、ソフト）開発プロジェクトの運営における実践的な開発マネジメントの視点を語る。

第10回 「宇宙国際プロジェクトに学ぶ『全員の力』」

講師 山浦雄一 (元) 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 理事・執行役

要旨 宇宙国際プロジェクトを題材に、国家・組織・人が何を担い、様々な課題にどう対処し実現させたかを経営視点で語る。

第11回 「新事業ベンチャーのあり方」

講師 木下泰三 (元) (株)日立製作所サービス・プラットフォーム事業本部 事業主管

要旨 大企業における社内ベンチャーの経験を経て、日本における新事業インキュベーションの推進方策、ベンチャー経営者の心構えと経営戦略のあり方を考える。

第12回 「通信サービス事業、製造業をモデルとして、グローバル時代の技術者の役割を考える」

講師 西郷英敏 (元) 沖電気工業(株) 常務執行役員

要旨 今日、国内事業であっても海外企業との関わりなしでは成立しない。こうした時代に、どのような視点でプロジェクトを運営していけばよいか、事例と共に考える。

第13回 「事業経営の現場」

講師 中村房芳 (元) (株)IHI 代表取締役副社長

要旨 戦略はとともに重要なのがその実行であり、危機対応を含め日々変化する状況下で速断を求められるのが経営の現場。キーとなる経営的発想は何かを考える。

第14回 「経営と品質」

講師 北山忠善 (元) 三菱プレジジョン(株) 社長

要旨 品質問題が経営を左右する事例が多くみられる。もの作り事業において品質、納期、コストは重要な3要素であるが、品質を最上位に置くことが経営において重要である。事業経験に基づき経営と品質の現場について述べる。

第15回 グループディスカッション

講師 複数講師とコーディネーター

要旨 後半の講義について、特定のテーマを取り上げ、受講生と講師との間で質疑応答しながら、グループごとに総合的に討論する。